

【社会・中1・「北アメリカ州」】①

育成を目指す資質・能力

(知識・技能) 世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。

(思・判・表) 北アメリカ州の地域的特色や課題をそこに暮らす人々の生活の様子を基に多面的・多角的に考察している。

(学びに向かう力等) 世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながらそれに関わる課題を主体的に追求しようとしている。

ICT活用のポイント

生徒が学びたいと思えるような「つかむ」過程の導入の工夫

【つかむ】

北アメリカ州の自然環境、歴史・文化から学習の見通しを持つ

世界に影響を与える北アメリカ州の産業はなぜ盛んなのか？

【追求する】

農業や工業からアメリカの特色について考察、表現する。

【まとめる】

自然、文化、産業の特色から、世界に影響を与える北アメリカ州の産業についてまとめ、発表する。

事例の概要

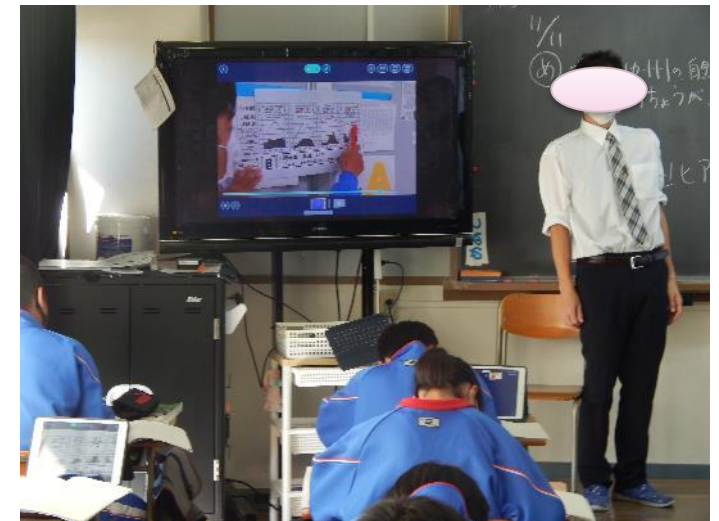
- 北アメリカ州の国土、地形について地図や写真から大観する。
- 北アメリカ州の自然環境、特に気候に注目し、地域ごとの雨温図に着目し、特色を自分の言葉でまとめる。

事例におけるICT活用場面

- ICT端末を用いて、教師が北アメリカ州の白地図を送り、地図から気づいたことや読み取ったことを書き込み、ペア活動で説明を行う。
- ICT端末を用いて、北アメリカ州の4つの都市の雨温図を提示し、グループで雨温図の特色を読み取り、説明動画を撮影する。
- 撮影動画を学習支援ソフトを通して、提出し、クラス全体で共有し、比較する。

【社会・中1・「北アメリカ州」】②

【事例におけるICT活用の場面】



導入でアメリカの自然を大観する場面では、ICT端末に送られた白地図から自分の考えをICT端末に書き込み、ペアで説明を行うことで、視覚的にも情報を共有した。多様な考えに触れることで、新たな気づきにつながっていった。

表現力を高めることができる

4つの都市の雨温図の特色を読み取り、生徒はグループの仲間に説明動画を撮影してもらう。撮影した動画を見直し、修正を加えることで、自分の考えを他者に説明するため、よりポイントを絞った説明になった。自分の発表が記録に残ることで学習の足跡を残すことができた。

撮影動画を学習支援ソフトを通して送らせ、個々の考えを共有した。全体で視覚的に意見共有を行い、ねらいにせまる考えに関しては教師が個別で取り上げ、全体に共有することで、多面的・多角的な考察に繋がった。

考察を深めることができる

【活用したソフトや機能】 カメラ（写真・動画撮影・映像確認）、学習支援ソフト